



「当たり前」の日常に感謝する

校長 青海 正

能登半島地震から2か月。生活を支える基盤であるインフラの復旧作業が懸命に続いています。被害による死者は241人、また安否不明者は輪島市で9人、避難者は依然1万人以上で帰還時期の目途(めど)はたちません。約1万9000戸で断水、710戸ほどで停電が続いています。

私たちの毎日は、一歩家を出ると電車やバスは運行しているし、学校に着けば普通に友だちや先生がいます。学校には自分の机やロッカー、タブレットが用意されていて、授業を受けて給食、部活にも参加できます。しかし、ひとたび大きな自然災害が起きた時などは、ライフラインが寸断されて、給水車に並ぶ人の列を報道で見ることがあります。蛇口をひねれば当たり前に出てくる水も、一度止まれば大いに困ります。洗面、トイレ、入浴、洗濯、食事など多くの場面に水は不可欠だからです。つまり、見えないところで数多くの人の力によって維持管理がされているからこそ、私たちはそれを当たり前に使えています。

話は変わりますが、3月8日に「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(家族会)」代表の横田拓也さんが、卒業する3年生に向け、伝えたい思いを胸に来校されます。横田めぐみさんのお兄さんです。日本国内では、1970年代か80年代にかけて、北朝鮮による拉致(略取及び誘拐、強制失踪させる行為)が多発しました。現在17名が政府によって拉致被害者として認定されています。2002年9月の第1回日朝首脳会談において、北朝鮮は日本人を拉致していたことを認め、その後、5名の被害者は帰国しましたが、残りの拉致被害者については、未だに納得のいく説明がありません。残された被害者たちは、今なお、全ての自由を奪われ、長きにわたり北朝鮮に囚われたままの状態、現在も救出を待っています。横田めぐみさんは、1977年、中学1年生の時に学校の帰り道で行方不明になり、2002年、北朝鮮が拉致したことを認めました。このことには、主権や人権、平和など様々な課題が存在しています。3年生には、愛する家族との日常が一瞬にして失われた事実、そして、それらを解決するために様々な人の努力が重ねられていることを伝えたい。

当たり前の日常を過ごしている私たちは、この当たり前に感謝し、自分の周囲に目を向けて、「ありがとう」と感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。考えてみると、「ありがとう」という言葉は「有り難い」という言葉から来ていて、有り難い=減多にない。まさに日常を当然のものと思わない考えが表れている言葉です。少しでも発想を変えて、当たり前が当たり前でなく、有り難い奇跡の連続だと思えたならば、当たり前にそこにあったものやできごとは、意味のあるものとして輝きを放つようになることでしょう。

3月の主な予定

1日(金)	3年特別時間割始 E-SATJ(1・2年) 都立一次・分割前期合格発表・手続き 特別支援学校合格発表 3年給食なし	12日(火)	安全指導 特支卒業遠足
4日(月)	生命尊重週間始 笑顔と学びの体験活動都響金管五重奏	13日(水)	専門委員会
5日(火)	卒業遠足(3年) 球技大会(2年)	14日(木)	評議委員会 都立二次合格発表・手続き
6日(水)	5時間授業 6hカット(職員会議) 都立二次願書受付	15日(金)	卒業式予行 職員会議(卒業式打合せ)
7日(木)	救命救急講習(3年)	18日(月)	⑤⑥カット 卒業式前日準備
8日(金)	薬物乱用防止教育(2年) いのちの授業(1・3年) 横田さんのお話(3年) 生命尊重週間終	19日(火)	第63回卒業式 給食なし
11日(月)	避難訓練(津波)	20日(水)	春分の日
		21日(木)	保護者会(1.2)
		22日(金)	美化活動3・4h 百人一首大会(1年) 給食なし
		25日(月)	修了式 給食なし
		26日(火)	春季休業日始

1年生社会科見学 横浜 2024.2.6

大雪が降った翌日、1年生が横浜に行きました。事前学習をして、グループごとに回るコースを決め、学校からグループ別に行動しました。社会科で学んだことをより深めたり、また、新たな課題を見つけたりすることができました。



2年生社会科見学 鎌倉 2024.2.7

2年生の社会科見学では、各クラス6班、学年全体で30のグループに分かれ古都鎌倉を満喫しました。昼食場所もそれぞれの行程に組み込み、江ノ電に乗ったり、大仏や鶴岡八幡宮、寺院を巡ったりしながら見聞を広げることができました。



1組社会科見学 埼玉 2024.2.8

(ロッテ浦和工場、彩の国くらしプラザ)

ロッテ浦和工場は、板チョコを中心にチョコレート菓子やアイスクリームを製造し、日本有数の生産規模を誇るお菓子工場です。当日は、チョコレートの製造ラインを見学しました。多くの工程を経て製品が出来上がることがわかりました。午後に訪れた彩の国くらしプラザは、消費生活をテーマとした全国唯一の本格的な参加体験型施設です。生活に役立つ様々な知恵を楽しみながら学ぶことができました。



東京春のコーラスコンテスト

4日(日)に北とびあさくらホール(北区王子)で音楽部(合唱)が『東京春のコーラスコンテスト』に出演しました。『からからと鳴る日々』より「祈りについて」「さくらさくら」を披露しました。皆で音楽を楽しみハーモニーにつなげて舞台上では、堂々と歌うことができました。見事、優秀賞を受賞しました。今後も練習に励んでいきます。



小学校6年生体験授業

9日(金)に西六郷小、仲六郷小、志茂田小の6年生の体験授業がありました。いつも学んでいる小学校の教室から中学校の教室に場所を変え、英語、数学、社会、理科、国語の5教科に分かれ中学校の教員から授業を受けました。終了後には、質問も多く出ていました。真剣に耳を傾ける姿に中学校生活に対する高い意欲を感じました。

4月からの入学をお待ちしています。



職業人の話を聴く会(1年生)

16日(金)にキャリア教育の授業の一環として東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)の大田運輸区より、4名の方が来校し講話をしていただきました。現役の運転手さん、車掌さんから仕事内容や多くの乗客の安全を守るため仕事に向かう姿勢等大変有意義な話を聞くことができました。



がん教育(2年生)

21日(水)に本校学校医、ヨコヤマクリニック院長横山真也先生をお招きし、がん教育の授業を行いました。日本人の2人に1人が罹患すると言われていたがんについて、現状や発生原因、予防や早期発見の重要性などを学びました。自分の生活を見直すきっかけになりました。



小中合同あいさつ運動

13日(火)~15日(木)の3日間、生徒会役員、委員会委員長、全学年の生活委員が志茂田小学校であいさつ運動を行いました。あいさつの声が交わされ、気持ちの良い1日のスタートを切ることができました。



学年末考査

26日(月)~28日(水)の3日間、学年末考査が行われました。3年生にとっては、中学校生活最後の定期考査になりました。どの学年も真剣に取り組んでいました。

